



平成 26 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 星光PMC株式会社
 代表者名 代表取締役社長 乗越 厚生
 (コード: 4963 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 伊佐木 融
 (TEL. 03-6202-7331)

中期経営計画「CS VISION-I」(2013年3月期~2015年3月期)の修正に関するお知らせ

当社では、平成 24 年 5 月 9 日付「中期経営計画「CS VISION-I」(2012 年度~2014 年度)の策定について」にて、当社設立 50 周年にあたる 2017 年度に連結売上高 350 億円、営業利益率 10%とする経営目標を掲げ、その達成に向けた第一段階として策定した 2015 年 3 月期までの 3 カ年の中期経営計画「CS VISION-I」を、公表いたしております。今般当社は、昨年度に実施した決算期の変更、および近時の事業動向を踏まえて、「CS VISION-I」の最終年度を 2015 年 12 月期、上記経営目標の達成年度を 2018 年 12 月期とし、併せて「CS VISION-I」の数値目標の修正を行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画「CS VISION-I」の計画最終年度および数値目標の修正

指標	項目	前回発表時	今回修正	増減	経営目標*
		計画最終年度 2015年3月期	2015年12月期		2018年12月期
基礎的 経営指標	連結売上高	27,080	28,780	+1,700	35,000
	連結営業利益	2,620	1,800	-820	3,500
	連結営業利益率	9.7%	6.3%	-3.4%	10.0%
個別注力 指標	(グローバル化指標) 海外事業売上高比率	11.4%	10.8%	-0.6%	20.0%
	(多角化指標) 新規事業領域 売上高比率	4.1%	15.0%	+10.9%	10.0%
	伸長事業合計	15.5%	25.8%	10.3%	30.0%

* 当社設立 50 周年時に達成すべき経営目標の目標数値は修正いたしておりません。

(ご参考) 過年度実績

指標	項目	2013年3月期 実績	2013年12月期 実績(9ヶ月)	2014年12月期 予想
基礎的 経営指標	連結売上高	21,122	16,750	26,160
	連結営業利益	1,139	656	1,100
	連結営業利益率	5.4%	3.9%	4.2%
個別注力 指標	(グローバル化指標) 海外事業売上高比率	6.4%	9.8%(*)	9.6%
	(多角化指標) 新規事業領域 売上高比率	1.0%	1.0%	10.8%
	伸長事業合計	7.4%	10.8%	20.4%

*2013年12月期は海外事業売上高が12カ月分含まれているため比率が高くなっています。

2. 修正の理由

2012年5月、当社は、変革に大胆にチャレンジする企業として、当社設立50周年にあたる2017年度に連結売上高350億円、営業利益率10%とする経営目標を掲げ、その達成に向けた第一段階として、2013年3月期から2015年3月期までの3カ年の中期経営計画「CS VISION-I」を策定いたしました。

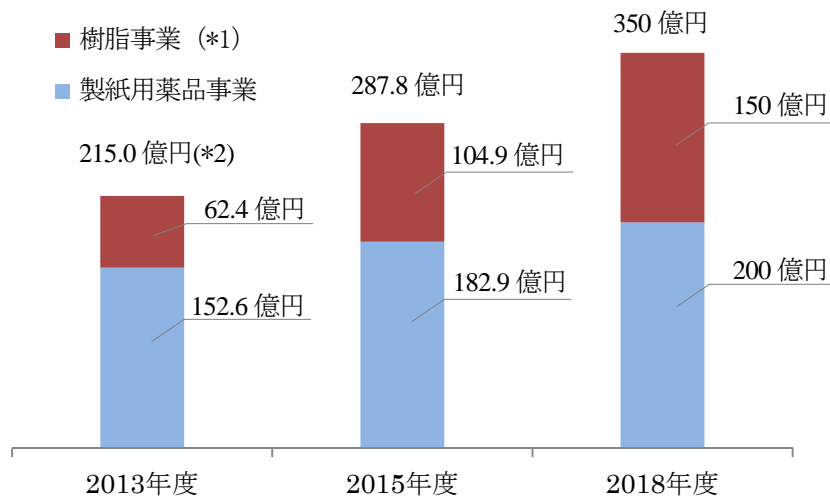
計画策定以降、当社を取り巻く国内の経営環境は、顧客業界の成熟に伴う販売数量の減少に加え、近時は原料価格の高騰等、厳しい状況が続いております。特に樹脂事業においては、欧州の景気後退等に起因する記録材料用樹脂需要の大幅な落ち込みなどから、売上、営業利益共当初計画を下回る推移を余儀なくされております。(当社業績の詳細については、本日付で公表いたしております「平成25年度12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照下さい。)

一方当社は、「CS VISION-I」で掲げた「外部資源を活用した事業領域拡大」戦略に沿って、昨年11月29日付で、興人フィルム&ケミカルズ株式会社と、同社化成品事業を本年4月1日に買収することにつき合意することができました。(平成25年11月29日付「興人フィルム&ケミカルズ株式会社が新たに設立する子会社の株式取得に関するお知らせ」をご参照ください。)

また当社では、海外連結子会社との決算期の統一を行うべく、2013年度より、決算期を3月31日から12月31日に変更しております。(平成25年1月31日付「決算期(事業年度の末日)変更及び定款一部変更に関するお知らせ」をご参照下さい。)

かかる一連の状況を踏まえ、当社では、「CS VISION-I」の最終年度を2015年12月期に、当社設立50周年での上記経営目標達成年度を2018年12月期に各々変更することとし、併せて「CS VISION-I」の数値目標についても、近時の経営環境、および新たに買収する事業の業績見通しを加えて上記1.記載の通り修正いたしました。

◇ 事業別売上高の推移



*1 新規事業及び2014年4月に取得する予定の興人フィルム&ケミカルズ社の化製品部門の数値を含んでおります。

*2 2013年度は9カ月決算のため、2013年1月～2013年12月の12カ月間の実績金額を表示しております。

当社といたしましては、「CS VISION-I」で掲げた、以下の基本戦略には変更はなく、引き続き既存事業の基盤強化と併せ、今年度に予定しているセルロースナノファイバーのサンプル供給体制の整備等、新規事業開発・事業化、及び中国に次ぐ東南アジア諸国への海外展開を積極的に進めて参ります。

- 選択と集中
 - ・ 当社の強みが活きる成長分野・製品への資源の重点配分
- 事業領域の拡大
 - ・ 地域 ～中国・東南アジアを中心とした成長市場への業務展開の加速
 - ・ 業務分野 ～エレクトロニクス関連材料、再生可能な環境材料に重点を置いた新規業務分野の開発・事業化
- 外部資源の活用
 - ・ 強みを補完する提携、事業領域の拡大を加速する企業買収の推進
- 筋肉質の企業体質へ
 - ・ 選択と集中、新たな業務分野への進出に伴う生産体制の統合・再編等を通じた柔軟で筋肉質の企業体質への変換
 - ・ グローバル環境下での人材基盤強化に資する人事施策の推進

以 上